

浅ダナの セット釣り

へ ら エ サ マ ニ ュ ア ル

徹 底 解 析

No.1

 マルキュー

冬のセット釣りとは？

寄せて食わず。これが、セット釣りの基本的な考え方です。中でも浅ダナのセット釣りは、水温が極端に低下するこれからの時期でもウキの動きがよいので、枚数が伸びる釣り方として冬の宙釣りの定番になっています。

この冬のセット釣りは、まずバラケを打って上層にへら鮒を寄せ、時合いを作るところから始まります。そして、活性の低いへら鮒に下バリのくわせを追わせるというのが、一連の流れになります。

狙うのは、セミカツケ～1m前後のタナ

今回は、一般的に「浅ダナ」といわれる短ザオを使った管理釣り場などでの1m前後の宙釣りを中心に、セミカツケ釣りも含め、その仕掛けのセッティングから基本となるバラケエサの作り方と使い方を紹介。また、状況別バラケエサパターンと、くわせエサの選び方も解説していきます。

基本的な浅ダナのセット釣りの仕掛け

仕掛け

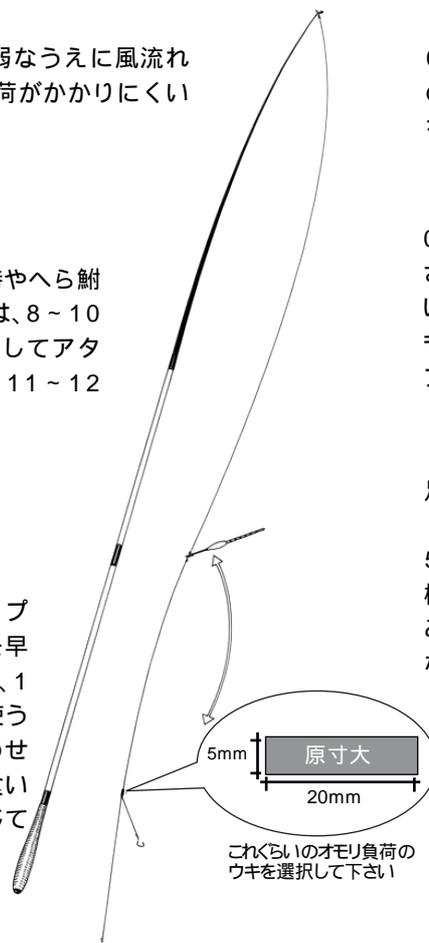
へら鮒のアタリが微弱なうえに風流れも出るので、ウキに負荷がかかりにくい繊細なものがよい。

サオ

釣り場が空いている時やへら鮒の寄りがよい場合には、8～10尺のものを使用。混雑してアタリが少ないときには、11～12尺のものを使う。

ハリ

上バリは、ヤラズタイプの3～4号を。バラケを早く抜きたいときには、1クラス小さいものを使うとよい。下バリはくわせ用の2～3号を、魚の食いやエサの大きさに応じて使い分ける。



道糸

0.4～0.6号のものを。極めてオモリ負荷量の少ないウキを使うことと(後述)風の抵抗を減らすため、細めが有利。

ハリス

0.2～0.35号を基準に、魚の食いに応じて太さを選択。渋いときは、下バリのハリスは細い方が有利。上バリのハリスは1クラス太いものにすると、ヨレ、ハリス切れなどのトラブル防止になる。

ウキ

足長タイプ、ボディ(羽部分)3～4cmパイプトップを使用。0.2mm厚で、幅20mm、長さ5mm程度の板オモリを背負えるぐらいの、極めてオモリ負荷量の少ないもの。なじみ込みがよく、風流れに強い足長タイプが有利となる。

状況別のハリス段差

状況	上	下
アタリが少ないとき	6～10cm	25～35cm
なじみ方が悪いとき	5～8cm	15～20cm
カラツンが多いとき	3～5cm	13～18cm
流れがあるとき	5～7cm	15～18cm
セミカツケ釣り	3～6cm	12～15cm

バラケエサの考え方

活性の低いへら鮎をいち早く狙うタナに集めるには、バラケエサがタナに到着してから急速にバラケる必要があります。また、下バリのくわせエサにアタらせるために、タテ、ヨコに拡散するバラケ性のよいエサがベースになります。その一例が、下のブレンドです。

「段差バラケ 2+」バラケマツハ 2+「軽麩」1+水1.2





作り方は、まず粉のうちによくかき混ぜてから水を入れ、全体を軽く10回ほど混ぜてください。その後、ダマをとるようにかき混ぜ、しっとりとしながらもサラッとした感じが出ればできあがり。人差し指の頭ほどの大きさにつまみ、形を整えながらハリ付けします。

こんなときどうする!

食い渋り、カラツン、ウワズリ時などの状況別対応策

釣り場の状況に合わせるためにバラケエサに手を加えても、どうしても釣れないときがあります。たとえば、バラケ性を強めたいときはA群のエサを、ハリ持ちのよいエサに仕上げたいときはB群のエサをブレンドすればよいわけですが、それでOKとはいかないことがあるのです。そんなときは、それぞれのグループのエサの中から、組み合わせるエサを変えてみてください。これで、状況にマッチしたバラケエサに仕上がることでしょ。

<p>A群 バラケ性のよいエサにしたいときは</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  新B </div> <div style="text-align: center;">  鬼バラ </div> <div style="text-align: center;">  冬のバラケ </div> <div style="text-align: center;">  軽麩 </div> </div>	<p>B群 ハリ持ちのよいエサにしたいときは</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  特S </div> <div style="text-align: center;">  バラケバインダー </div> </div>	<p>C群 重いエサにしたいときは</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  ダンゴの底釣り夏 </div> <div style="text-align: center;">  底力 </div> <div style="text-align: center;">  底バラ </div> <div style="text-align: center;">  へらスミー </div> <div style="text-align: center;">  とろスミー </div> </div>
---	---	---

それでもアタリが明確に出ないようであれば、ウキの動きから具体的にどうすればよいのかを考えてみましょう。たとえば、ひとくちにバラケ性が必要といっても、粒子が粗い『新B』でバラケさせるのか、あるいはタテバラケの『鬼バラ』でいくのか。また、粒子の細かい『冬のバラケ』のパターンで攻めるのかなど、いろいろな方法があります。バラケエサに重さが欲しいときも、まとまりやすい『ダンゴの底釣り夏』で比重をつけるのか、サラサラとタテバラケが持続する『底バラ』をチョイスするのか…。各エサは、それぞれ細かな特長をもっています。ただ漫然と「ハリ持ちをよくしたいから」、「重いエサにしたいから」とエサ選びをおこなっていても、好釣果を得られるとはかぎらないのです。

ここで、各エサの特長を生かした実績のあるブレンドパターンを紹介してみましょう。

ウキのなじみが少ないとき

「特S」1+「バラケマツハ」1+「ダンゴの底釣り夏」1+水1

重くてまとまりがよいので、なじみ幅は手もみで調整。バラケさせたいときには、バラケマツハを足していきます。

アタリが少ないとき

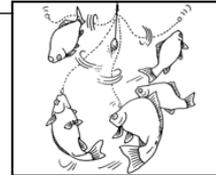
「新B」1+「段差バラケ」1+「へらスイミー」1+水0.8

大きめにラフ付けし、テンポよくエサ打ちします。タテとヨコにバラケた餌が、タナに素早くへら鮎を寄せます。

寄りがよく、ウキがもまれるとき

「ダンゴの底釣り競技用・夏」1+「特S」1+「冬のバラケ」1+水1

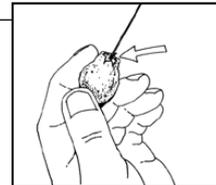
手水を打って揉み込んだエサを、丁寧にハリ付け。タテにバラケるので、へら鮎のタナが安定し、はっきりした食いアタリが出ます。



抜く、持たすが自在。カラツンが多いときにも効果的

「新B」2+「ダンゴの底釣り夏」1+水1.5+「底バラ」1+「軽麸」1

抜くときには、ハリの中モトをラフに。ハリも1クラス小さいものを使います。混雑時にも効果がある、変化する釣況に即応するバラケ。シメに「鬼バラ」、「スーパーダンゴ」でもOKです。



サワリが少なく、決めアタリに欠けると

「特S」2+水1.5+「バラケマツハ」2+「鬼バラ」0.5

仕上がりはシットリボソ。小分けをしてやや強く押し練りし、手揉みをしながらなじみ幅を調整。ハリ持ちがよすぎる場合は手水を打ち、「バラケマツハ」を足していきます。

上記のパターンにおいて、基本的にバラケを持たせる、早く抜かせるなどは、加える水の量で調整します。持たせたいときは水を少なめで硬めに仕上げ、早く抜かせたいときは水を多めに加え、軟らかく仕上げるのがコツです。

釣況に応じたくわせエサ選び

バリエーション豊たくくわせエサ。その選び方のコツは、こういったものなのでしょうか。やはり、くわせエサもバラケエサと同じように、状況に合わせたセレクトがポイントになってきます。寄りのよいときには重め、食いの渋いときには軽めといった感じに。ちなみに、作りたての感じが長続きするくわせエサは、ウキに明確なアタリを伝えてくれます。では、いくつかのくわせエサをピックアップし、簡単に紹介してみましょう。



感嘆

硬い、軟らかいの調整が自在。釣り場で簡単に作れ、オカユボンブで使います。ネバリとコシがしっかりしているのでダレがほとんどなく、長時間の使用にも安心。手軽さがウケている、くわせエサです。

¥300



特選わらび彩

軽くて吸い込みがよく、しかもハリ切れのよいわらびうどん。だから、昨今気になるくわせエサへのカラツンを極力防いでくれます。アタリが出たら確実に食わせたいときに使うウドンです。

¥400(3袋入り)



JP(ジエイビー)

ナベで作る、ポンプ出し専用のわらびうどん。軟らかく作っても、しっかりとハリに残る粘りの強さ。そして、経時変化が極めて少ないという特長を持ち、食い渋ったへら鮎に絶大な威力を発揮します。コシの強さは、天下一品。電子レンジでも作れます。

¥400(3袋入り)



わらびどん

しっかりハリに残るから、食い渋りの誘い釣りに効果があるわらびうどん。ウドン特有の重さでハリスを張らせ、食いアタリをオモリ、そしてウキへとダイレクトに伝えます。宙のセット釣りから段差の底釣りまで幅広くカバーします。

¥400(3袋入り)

つれるエサづくり一筋
丸マルキュー
http://www.marukyu.com/

本社・桶川工場 埼玉県桶川市赤堀 2-4 〒363-8509
TEL:(048)728-0909(代) FAX:(048)728-3909
大阪支店 大阪府寝屋川市楠根南町12-14 〒572-0811
TEL:(072)824-0909(代) FAX:(072)825-0909

四国営業所 香川県坂出市西大浜北3-4-33 〒762-0053
TEL:(0877)44-0909(代) FAX:(0877)44-3909
九州営業所 佐賀県鳥栖市姫方町341-8 〒841-0023
TEL:(0942)82-0909(代) FAX:(0942)83-0909